



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：私たちは変えられる
アジア太平洋会長主題：アクション
東日本区理事主題：為せば、成る
あずさ部長主題：未来はそれに備える人のものである
甲府クラブ会長主題：肩を組んで、歩み行くワイズ

Moon Sang Bong (韓国)
田中 博之 (東京多摩みなみ)
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
廣瀬 健 (甲府21)
ピーター・マウントフォード

甲府ワイズメンズクラブ
2019 2月会報
●今月の強調目標
(TOF)

■今月のことば■

「神のなされることは皆その時にかなって美しい」

旧約聖書 1955年版 伝道の書 3章11節 田草川 すみ江 会員選

今月の例会案内

日時：2019年2月12日(火) 18:45～
会場：山梨YMCA 2Fホール
担当：役員会
司会：標 克明 君

プログラム

- ・開会点鐘 P・マウントフォード 会長
- ・ワイズソング・ワイズソングの信条 一同
- ・挨拶/ゲスト紹介 P・マウントフォード 会長
- ・入会式 宮本 秀憲 君
- ・次期会長選考報告 丹後 佳代 委員長
- ・今月のことば/食前の感謝 田草川すみ江 会員
- ・軽食
- ・会員卓話 「イギリス産業革命の足跡」
P・マウントフォード 君
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・甲府ワイズの歌
- ・閉会点鐘 P・マウントフォード 会長

1月のデータ

会員数	33名	キャンディデイト1名
内広義会員	1名	(宮本 秀憲)
例会出席会員	26名	出席率 79%

ゲスト8名

神崎清一(日本YMCA同盟総主事)・小野興子(山梨YMCA理事)・三井貴子(山梨英和中高校長)・事務屋日の丸(手品)・飯田華代子(ヴァイオリン奏者)・福田奈理子(山梨YMCA)・鶴田和子(ぶどうの木管理者)堀口廣司(東山荘所長) 計67名

甲府21クラブメン:24名・メネット:8名

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

会長 P・マウントフォード

いかがお過ごしでしょうか。やっと雨が降りました。冬の乾燥に一息がつかしました。旧正月を迎え、所々梅が咲いており、他にも春の気配が見られてきました。

今月は宮本秀憲さんが入会します。クラブの皆様の代表で心より歓迎します。クラブ活動に貢献を期待します。

先日、例会卓話「イギリス産業革命の跡地」を準備するために、昔に撮った写真を閲覧していました。ときどき、えっ！いつ？どこ？と、覚えがない写真が出てきました。例えば、山頂に立った家の子供でした。子供の裏にアンテナがあったので、三ッ峠ではないのかと考えて、次に行こうと決めました。天気の良い日に登りました。山頂から南アルプス、聖岳から仙丈ヶ岳まで、全体が見られて、北アルプスも見られました。見覚えのない素晴らしい景色でした。皆さんも身近な楽しみを見つけてください。



1 月例会報告

新年合同例会参加録

荒川 洋一

1月8日(火)、ワイズメンズクラブの平成年代最後の新年合同例会が行われました。名前のとおり例会は甲府21クラブと合同で、今年は、甲府21クラブの主催、会場はいつもの談露館。



まず例会、司会は荻野清(甲府21)ワイズ。野々垣健五(甲府21会長)ワイズの開会点鐘で例会がスタートし、ワイズソング、ワイズの信条、松村禎夫(甲府21)ワイズの今月の聖句、野々垣、ピーター(甲府)両会長による挨拶、ゲスト紹介と続きました。

今例回のゲストは、神崎清一(日本YMCA同盟総主事)、小野興子(山梨YMCA理事)、三井貴子(山梨英和中等高校長)、飯田華代子(バイオリニスト)、堀口廣司(東山荘所長)、事務屋日の丸(手品・落語家)甲府21メネットなど大勢で、両クラブワイズメンと合わせて会場は満員状態でした。

続いて露木淳司山梨YMCA総主事から、いよいよ煮詰まってきた新会館建設に向けた募金のお願い。(今度のYMCA新会館は幼児から高齢者まで誰でもOK)という全国のYMCAでも珍しいものになるという。また、三井英和中等高校長から山梨英和創立130周年に向けた募金のお願い、諸報告などを聞く。そしてハッピーバースデー、アニバーサリーと続き(ゲストの飯田さんのバイオリンが良かった)、本日のゲスト卓話者、神崎同盟総主事の卓話「YMCAが青少年の希望となる日」を聞く。その話の中で、YMCAとワイズメンズクラブの関係を、(大きなパートナーでありサポーターで、今後何が必要か?情報交換が必要)と話された。

続いて懇親会、野々垣会長の挨拶、後藤哲夫メン(甲府21)の食前の祈り、神崎同盟総主事の乾杯の後食事。アルコールも入りしばし歓談する。ただし食事中、バイオリンは各テーブルを回って演奏していたがマジックショーはいちばん遠いテーブルでは見えず聞こえずもったいなかったと思います。また今回のニコニコボックスは全額、東山荘のために寄付されました。最後にYMCAの歌を歌いピーター会長の閉会点鐘で終わりました。

1 月役員会報告

▼ 日時:2019年1月22日(火)
午後6時30分～8時00分

▼ 場所:山梨YMCA

▼ 出席者:マウントフォード・田草川・仙洞田・丹後・廣瀬・渡辺

【報告事項】

①1月8日(火) 新年合同例会報告

出席者:メン26名、キャンディデイト:宮本秀憲、甲府21クラブメン:24名・メネット:8名
ゲスト8名:(神崎清一(日本YMCA同盟総主事)・小野興子(山梨YMCA理事)・三井貴子(山梨英和中等高校長)・事務屋日の丸(手品)・飯田華代子(ヴァイオリン奏者)・福田奈理子(山梨YMCA)・鶴田和子(ぶどうの木管理者)・堀口廣司(東山荘所長)計67名 出席率79%

感想:甲府21クラブの元気が現れた例会であった。バースデープレゼントが用意されていないケースが時々あるので、担当委員会に確認する。

②1月12日(土) お正月を遊ぼう報告

参加者:ピーター・大澤・標・済本・仙洞田・丹後・内藤・廣瀬・渡辺・標メネット・松本(YMCA常議員)「紙飛行機飛ばし」へは、約150名の子どもが参加した。

③その他の報告

- 1.後期半年報を34名(内、広義会員1名)で報告済み
- 2.松本クラブ土佐文旦購入申し込みの件:1/22現在12箱
- 3.会計より:ピーター会長、小倉会員から会葬御礼として、各20,000円頂戴した。

【協議・確認事項】

①2月12日(火) 2月TOF例会の件:プログラム及び例会グッズ等準備品と担当者を確認。宮本氏の入会式と東日本区への届けを確認

②3月例会(3月12日・火)の件:A委員会担当、廣瀬委員長から桜に関する卓話の提案があり承認。講師は(株)津々美造園代表取締役・堤明伸氏

③2月9日(土) あずさ部第2回評議会出席確認:マウントフォード、仙洞田、丹後

④次期会長選考の件:選考継続中だが難航している。会長の負担、クラブ運営の在り方等の意見交換が行われた。

⑤70周年記念事業実行委員会の件:石川博会員が実行委員長を引き受けてくれた。2月例会で報告

⑥国際選挙(来年度の次期国際会長と次期アジア太平洋地域会長)の件:会長に一任

⑦今後の予定を確認、会長から近隣クラブの行事への参加が少ないとの指摘があった。

(書記:仙洞田安宏)



甲府ワイズ会員投稿



私の想い (1)

布能 壽英



私は昭和2年7月、「くろがねや」の4代目の一人息子として生まれました。商業学校4年生の17歳の時、父を47歳で失いました。そして翌年の20年の7月、戦災で焼け出され、終戦後疎開先からいち早く「魚町」の生まれた場所に戻り、バラックを

建てて生活をはじめました。母と姉、私の3人でした。甲府の中心街は、かつては、柳町、桜町、春日町、常盤町が中心でありましたが、戦後は駅周辺に中心が移ることを感じ、私は錦町に店舗を移しました。

すると間もなく、NCRの社員がレジスターの売り込みに参りました。もはや手提げ金庫の時代でないことを感じとった私はレジスターを求めました。するとその社員から「東京でセルフサービスとスーパーマーケットのセミナーをしているのでよろしかったらお越し下さい」という誘いを受けました。私はスーパーマーケットに関心をもっておりましたので出席致しました。すると今度はそのセミナーが終わった時に、「もし希望ならば、NCRの本社があるアメリカのオハイオ州での国際セミナーにも参加が出来ますよ」という話を承りました。一週間か十日の旅で、当時のお金で60万円という金額でしたが、私は母に頼んで参加しました。幸いにも同時通訳の施設がありましたので理解できました。その結論は、「No Parking is No Business.」-駐車ができないことには仕事にならない、の言葉でした。帰ってくると甲府の街は「駐車禁止」の立て札は一本もなく、警察署の前も自由に駐車が出来た状態でありました。その後スーパーマーケットに関心を持ち続けた私は他のコンサルタントの団体の、アメリカ研修ツアーに参加致しました。それは当時読売新聞社の記者をしておって、「ペガサスクラブ」という組織をつくった渥美俊一の学習ツアーでした。

彼はセミナーで申します。アメリカ社会を大きく支えている3本の柱がある。その1本は、「フロンティアスピリット」、2本目は「リーダーシップ」、3本目は「プラグマティズム (Pragmatism)」であると言いました。私はプラグマティズムという言葉になにか関心を持ちまして、それ以後ずっとその言葉を考え続けて参りました。そしてアメリカ人にも直接尋ねましたが、なかなか納得のいく説明はありませんでした。ただ山梨YMCAの主事として来ていたドワイト・コール氏が「この言葉はインドから生まれた言葉で、ものごとを見つめるところから出発する」という説明

を受けまして、それが大変印象に残っておりました。

3年ほど前、朝日新聞を読んでおりましたら、社説の中に「プラグマティズム」という言葉が、直接使われていました。そしてかっこして、「実践値(じっせんち)」実践の値(あたい)とその言葉が書かれてありました。私はそのことに深く頷きました。

私なりに考えてみますと、アメリカの建国は1776年です。240年を過ぎたにすぎません。要するにヨーロッパ諸国のように歴史と哲学がない。しかしアメリカは最初のピューリタンの開拓入国以来、「パラダイティズム」という、キリスト教理想主義がある。かたやリアリズムがある。パラダイティズムとリアリズムの間には大きな隔たりがあります。この隔たりはなんとしても埋めていかなければならない。そこから切磋琢磨が始まった、と私は捉えています。そこから生まれたのが「プラグマティズム」ではないか、というのが私の全くの独善的解釈であります。そのような考えを持ってまいりました。

アメリカの産業界はあらゆるところが急速発展、世界の歴史の希なる先進国となりました。流通業、なかんずく小売業も例外ではありません。小売業ではセルフサービスをまず考えました。当然のこととして、セルフサービスからスーパーマーケットが生まれ、スーパーマーケットはチェーンストアとして全米に普及いたしました。そしてスーパーマーケットからディスカウントストア、バラエティストア、ドラッグストア、スペシャリティストア等々新しい業態を次々と開発してまいりました。そしていまやショッピングセンターとコンビニエンスストアを考えずに市民生活は成り立たないという状態であることは現実の姿であります。

やはり3年ほど前、一橋大学が「プラグマティズム」の講座を設けるといふ報道がかなり大きく伝わりました。これから先どのように業態が進化発展分解されていくか私にはわかりません。しかし「プラグマティズム」は、アメリカの哲学である。なにか新しいことを始めるには「仮説をたてて」、「実験し」、「それを展開して」、そしてその結果を「修正・加工」して新しいものを生んでいく。それがものごとの基本的姿勢であります。おそらくプラグマティズムの本質にはそういう仮説をたてて実験する、実験からいわゆる実践値が生まれる。そういうふうにつかえまして、「プラグマティズム」というのは、やはりアメリカだけでなく、世界が必要とする一つの哲学だと私は思うようになりました。(つづく)

この文章は、甲府21クラブ・野々垣健五会長が、昨年9月、布能会員にインタビューし小冊子に纏められたものを、一部抜粋・編集したものです。

「第8回お正月を遊ぼうに参加して」

廣瀬 静男



日時：2019年1月12日（土曜）

場所：甲府駅北口よっちゃばれ広場

天気は曇り、とても寒い朝でしたが、雨の心配はなさそうで一安心。宮前保育園の園児が和太鼓でモンキーマジックを演奏、続いて大鎌田保育園の園児のマーチングバンドが聖者の行進を演奏し威勢よくスタート。子供たちの少し緊張しながらも真剣なまきびきびとした動きは、見るものを魅了する。

主催の甲府駅北口まちづくり委員会の古屋会長の“祭りを盛り上げるように”の挨拶でオープニングセレモニーが始まる、セレモニーの閉会の言葉ではピーター会長が“今日1日をみんなで楽しみましょう”と挨拶、いよいよイベントが始まる。甲府ワイズは今年も「紙ヒコーキとばし」を担当した。子供たちに紙ヒコーキを折ってもらい、飛ばして楽しんでもらう。参加した子供には飴をプレゼントしましたが、皆とても喜んでくれました。子供たちは覚えるのがとても早く、少し難しい折り方の紙ヒコーキもすぐに覚えてしまいます。面白くて何度も飛ばして楽しんでいる子もいました。最初はなかなか人が集まりませんでした。次第が増えて最終的には去年と同じ150人くらいが紙ヒコーキとばしを楽しみました。

昔は遊ぶ場所がどこにでもあり、自分たちで遊びを考え、楽しみましたが、最近はその機会が少なくなり、子供たちにとっては非常に新鮮に感じられるのではないのでしょうか。渡辺徳之さんは別の団体からの参加で大根鉄砲を担当、今年も一番の人気でした。ジャンボすごろく、竹とんぼ、めんこ、竹馬等々他の遊びもみな大変な活況でした。

今年でもう8回目になりますが、このような昔からの遊びを親子で一緒に楽しめるこれだけ大きなイベントは全国的にも例がないとのこと、今後もこのイベントが増々発展し、長く続くことを祈ります。

参加者：マウントフォード、大澤、標、済本、仙洞田、丹後、内藤、渡辺、廣瀬、標メネット、松本（YMCA常議員）

山梨YMCAだより

2月の最終水曜日は
ピンクシャツデーです！



総主事 露木 淳司

ピンクシャツデーとは、全国のYMCAで数年前から本格的に取り組まれているいじめ撲滅運動です。きっかけとなったのは2007年に起きた、カナダの学生2人が起こしたある行動からでした。

ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」と言われていじめられたのです。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを買って来て、インターネット上で、「みんなでそれを着ようと促したのです。呼びかけには数百名の生徒が応じて、学校中がピンク一色となり、いじめはなくなったそうです。

この話が世界中に広がり、今では70か国以上でいじめ撲滅運動として活かされるようになってきました。最初にこの出来事があったのが2月の最終水曜日だったことから、毎年、この日にいじめについて考えようという運動が発展したのです。

山梨YMCAでも、毎年この日にはピンクのものを身に付けたり持ってくるように子供たちに呼びかけ、いじめについて考える日とするようになりました。甲府ワイズと長野ワイズで連絡主事を務めさせていただいている私も、両ワイズからいただいたピンクのポロシャツをこの日に交互に着させていただいております。皆さんもこの日を覚えて、ピンクのものを身に着けてはみてはいかがですか？

これからの行事予定

2月26日（火） 2月役員会 山梨YMCA

3月12日（火） 3月例会（ホテル談露館）

2月 Happy Birthday

メ ン 廣瀬静男(18日) 秋山仁博(26日)
二子石宣秀(26日) 武田信男(28日)
メ ネット 金丸美香(13日) 石川順子(博)(23日)
田中千里(克)(24日) 中澤奈緒(大)(24日)

2月 Wedding Anniversary

神山玄太 ♡ 奈緒子(2日) 渡辺徳之 ♡ 広子(21日)